

第2学年 算数科学習指導案

活動日 平成14年2月16日
授業者 杉山 千恵
活動場所 2年2組教室（校舎2階西）

1. 単元名 「10000までの数」（全9時間）

2. 単元について

本単元では、10000までの数の構成、書き表し方、読み方、大小、順序について理解することをねらいとしている。また、3位数までの加法で千の位へくり上がる計算や、千いくつかから3位数をひく減法で、千の位からくり下がる計算ができることもねらいとしている。

児童は、2学年の1学期に1000までの数について、2学期には、3けたのたし算や3けたのひき算を学習した。何十、何百を10のいくつ分、100のいくつ分ととらえることや、計算原理や手順についても理解して、加減計算に取り組んできた。

本単元を通して、さらに数が拡張してきたことをふまえ、今までの学習をもとにして、1000のいくつ分というとらえ方のよさに気づかせたい。また、学習内容が定着するように、画面にある個人での練習問題を活用して、数の書き表し方、読み方、計算の仕方を説明していくことを大切に、学級全体で学習内容を確認するようにしたい。

3. 願う子どもの姿

- ・3位数までの数の構成原理をもとにして、4位数の数え方、書き表し方、読み方が分かり、4位数までの数の順序、大小を理解することができる。
- ・3位数までの加法減法の計算方法をもとにして、3位数までの加法で千の位へくり上がる計算や、千いくつかから3位数を引く減法で、千の位から繰り下がる計算の筆算方法を考えて理解し、計算をすることができる。

4. 研究内容との関わり

- 研究内容に関わって（基礎・基本を確立するための、情報教育カリキュラムにのった単元指導計画の在り方）

本単元では、前時までの学習をもとにして、次の学習へ進む単元構成になっている。そこで単位時間の中で学習を確実に定着させるために、練習問題を全体で交流して書き方や読み方や計算の仕方を確認するようにする。

- 研究内容に関わって（基礎・基本の力をつける学習活動の在り方）

個人追求では、自分の考えをもつことができるようにしたい。その考えを仲間に多く話すことで、学習のねらいが確かなものになると考える。そこで、全体の交流の前に、ペアで考えを確かめ合う活動を取り入れる。

- 研究内容に関わって（基礎・基本の定着を図る自己評価の在り方）

授業の終わりに画面による練習問題を位置付け、一時間の学習の定着を図りたい。確実に定着させるために、画面には、「位のへや」や「丸図」などを表し、考え方の筋道を振り返りながら説明できるようにする。

5. 単元指導計画

	ね ら い	主 な 学 習 活 動	自ら学ぶ姿の育成
第一次	1 本時 ↓ 4	・紙の枚数の書き方や読み方を考える。（4位数、空位のある4位数） ・練習問題を解く。 ・2400は100をいくつ集めた数か考える。 ・1000を10集めた数を考える。 ・数直線の□にあてはまる数を書いたり、数を表すめもりにしるしをつけたりする。	1000までの数の表し方と同じ考えで、1000のいくつ分というとらえ方をし考えればよいことに気付く。
第二次	5 ↓ 7	・千の位へくり上がるたし算の計算の仕方を考えまとめる。 ・千の位からくり下がるひき算の計算の仕方を考えまとめる。 ・千の位からくり下げて一の位のひき算をする計算の仕方を考えてまとめる。 ・練習問題を解く。	3けたのたし算のくり上がりの考え方と同じように、千の位へくり上げればよいことに気付く。 3けたのひき算のくり下がりの考え方と同じように、千の位からくり下げればよいことに気付く。
第三次	8 ・ 9	・10000までの数を数字で書いたり読んだりできる。 ・3位数の加法計算、4位数から3位数の減法計算ができる。	今までの学習内容をもとにして問題を解く。

6. 本時の目標 (2 / 9)

空位のある4位数を，3位数までの空位の表し方をもとにして，書き表したり読んだりすることができる。

7. 本時の評価規準

表現・処理	位ごとの数を明確にして空位があることに気付き，書き表したり読んだりすることができる。
-------	--

8. 本時の展開

段階	学 習 活 動	研究に関わって 資料 ○評価 →支援								
つかむ	1．問題が分かる。 紙のたばを数えよう。 ・ 百の束がないよ。 ・ 前の時間は，どの位もあったよ。今日は，百の位がないね。	学習の足跡の掲示 紙の束								
ふかめる	2．課題が分かる。 くらいがないときの数をかいたり，よんだりしよう。 3．課題を追求する。 ・ 個人で追求する。 ・ 百の束がないから，百の位には0をかけばいい。 ・ 位の部屋を使って考えよう。 <table><tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td></tr><tr><td>3</td><td>0</td><td>2</td><td>5</td></tr></table> ・ 自分の考えを仲間と交流する。 ・ 全体で交流する。	千	百	十	一	3	0	2	5	○ 枚数を3025と書き表すことができたか。 →机間指導を通して，一人一人の考えを把握する。 →位の部屋を使うと分かりやすいことを助言する。 ○ 3025を三千二十五と読むことができたか。 →位を意識して読むこと，0は読まないことを助言する。
千	百	十	一							
3	0	2	5							
まとめる	4．練習問題を解いて，全体場で確認する。 4031 6302 7008 八千五百七十六 九千七十二 5．学習のまとめをする。 1000までの数のやり方と同じように，かくときは，ないくらいに0をかけばよい。よむときはくらいをとばしてよめばよい。	練習問題の画面 ○ 問題の解き方を位を意識して説明できたか。 →つまづいている児童には位の部屋で考えるように助言する。								